

第 21 回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

大会テーマ『今こそ戦争遺跡を平和のために！』

【主催】第 21 回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会・戦争遺跡保存全国ネットワーク

【後援】高知県 高知市 高知市教育委員会 南国市

高知新聞社 朝日新聞高知総局 毎日新聞社高知支局 産経新聞社高知支局 読売新聞社高知支局
NHK 高知放送局 RKC 高知放送 KUTV テレビ高知 KSS さんさんテレビ 高知ケーブルテレビ

1.大会趣旨

2017 年の第 21 回戦争遺跡保存全国シンポジウムは高知市で開催されます。

高知は、幕末維新期に西南雄藩として名を馳せるとともに自由民権運動の発祥の地としても知られており、「自由は土佐の山間より」は県詞にも詠われています。

高知市はアジア太平洋戦争末期、1945 年 7 月 4 日の大空襲により市街地の大半が灰燼に帰し 438 名の命が失われました。高知平野は当時大本営によって米軍上陸の有力な候補地とされていたことから、数多くの「本土決戦」陣地や特攻基地が作られ、それらが戦争遺跡として残存しているところも少なくありません。また、当地には反戦・抵抗についても刮目すべき歴史が刻まれています。満州事変の翌年 1932 年 2 月、歩兵第 44 連隊が上海に向かって出兵しようとする前夜、榎村浩等によって書かれた出兵反対のピラが兵営内に撒かれたのです。

高知での戦争遺跡保存の取組みは、1997 年の「掩体壕を文化財に推進する会」にはじまります。翌年に戦争遺跡保存ネットワーク高知が結成され、2000 年には第 4 回戦争遺跡保存全国シンポジウムが南国市で開催されました。市民の粘り強い働きかけと行政の努力により 2006 年には旧高知海軍航空隊の残存掩体 7 基すべてが南国市史跡となり、2013 年にはその内の 1 基の調査と修復が終わり掩体公園として整備されました。その後、「地下通信所」の保存も実現されました。

しかしこの間、浦戸海軍航空隊跡など無惨にも破壊された戦争遺跡もあります。現在は旧歩兵第 44 連隊弾薬庫・講堂の保存が緊急を要する大きな課題となっています。今回の高知大会を機に全国の取組みに学び保存を進めてまいりたいと思います。

周知のように日本は今、安保関連法制のもと自国の防衛とは無関係に海外で戦争する可能性のある危険な道を進んでいます。今こそ歴史の教訓を総動員して戦後 72 年間続いて来た平和を守り抜かなければならないと思います。

来年は明治維新後 150 年です。維新以後、日本は西洋文明を取り入れ近代化を図り短期間のうちに発展を遂げました。しかしその歴史を振り返る時、手放しに肯定することはできないと思います。その前半は植民地支配と侵略戦争の時代であり、アジア太平洋戦争はその帰結でした。近代日本の歴史の「生き証人」である戦争遺跡の調査・研究や保存の意義が今日ほど強く求められている時はありません。

第 21 回高知大会が、戦争遺跡の保存の現状や課題を明らかにし、相互交流を深めさらに発展させることができるよう多くの方のご参加を願っています。

2.開催日と会場

2017年8月19日(土)～21日(月)

- ・ 県民文化ホールグリーンホール (19日 全体会)
- ・ " 多目的室 (20日 分科会と閉会行事)

〒780-0870 高知市本町4丁目3-30 ☎088-824-5321

3.会場への交通案内

- 高知龍馬空港から：空港バスで「はりまや橋」下車(約30分)、路面電車に乗り換え「県庁・市役所前」下車(約5分)、南へ徒歩で3分
- JR高知駅から：路面電車に乗車し「はりまや橋」下車(約5分)、「はりまや橋」から「鏡川橋」行に乗り換え「県庁・市役所前」下車(約5分)、南へ徒歩で3分(乗り換えの際に乗り換え券をもらって下さい)

4.日程と内容

(1)8月19日(土)

①全体集会 グリーンホール

12:00～ 受付

13:00～ 全体集会開会

- ・ 主催者挨拶(実行委員長)
- ・ 記念講演 公文 豪 先生 「植木枝盛憲法草案と日本国憲法」
(休憩)
- ・ 基調報告 十菱駿武(戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)
- ・ 地域報告 2本程度 15:00～15:40
- ・ 閉会挨拶

15:50～ 会員総会

16:30～ 分科会打ち合わせ(運営委員) (17:00会場閉鎖)
(交流会会場へ移動)

② 全国交流会(高知会館)

17:30～ 受付

18:00～ 交流会

*お一人さま5,000円

(2) 8月20日(日) 分科会、閉会集会 多目的室

08:30 ～ 受付

09:00～15:00 分科会

分科会①:「保存運動の現状と課題」(第11多目的室 1F)

分科会②:「調査の方法と整備技術」(第6多目的室 4F)

分科会③:「平和博物館と次世代への継承」(第7・8多目的室を1つにして使用 4F)

15：10～16：00 閉会集会（第6多目的室 4F）

分科会報告

特別決議 大会アピール

閉会挨拶

(3)8月21日（月） 遺跡見学会（午前中）

Aコース：前浜掩体と耐弾式通信所

09：00 県民文化ホール前出発 高知龍馬空港着 11：30分 JR高知駅着 12：10

※ 懐中電灯をご持参下さい。

Bコース：旧歩兵第44連隊弾薬庫・講堂、陸軍墓地 他

09：00 県民文化ホール前出発 12：00 県民文化ホール前着

(4)図書交換

8月20日 09：00～15：00 に第3多目的室（3F）

5.参加費など

参加費 一般 2000円（1日参加は1000円） 大学（院）生 1000円（1日参加は500円）

交流会参加費 5,000円

昼食弁当代 600円（8月20日）

遺跡見学会 Aコース バス代 2,600円 Bコース バス代 2,400円

6.宿泊について

宿泊の斡旋はありません。同封の高知市マップを参考に、各自でご手配ください。

7.現地実行委員会組織

実行委員長 平和資料館・草の家館長 岡村正弘

事務局長 幅 国洋（全国） 出原恵三（現地） 事務局次長 岡村啓佐 会計 太田紘志

記念講演講師 公文 豪（くもん ごう） 氏

1948年生（68歳）。野市町議会議員・高知県議会議員を経て、現在は高知近代史研究会会長、土佐史談会副会長、高知大学非常勤講師。

著書 『民権ばあさん・楠瀬喜多小論』、『土佐の自由民権運動入門』、『史跡ガイド・土佐の自由民権』、共著『土佐自由民権運動日録』、校訂・宇田朋猪著『板垣退助君伝記』など。おもに自由民権運動を研究し、高知大学では植木枝盛の思想を講義している。



事務局 〒780-0861 高知市升形9-11 平和資料館・草の家

☎088-875-1275 FAX088-821-0586 メールアドレス GRH@mal.seikyoku.ne.jp